

# 区議会公明党 は、やりました！

～このたび実施される主な事業を紹介～

## 男性へのHPVワクチン任意 予防接種費用の助成を実施！

子宮頸がんワクチンとして知られるHPVワクチンは、男性の肛門がんや尖圭コンジローマの発症予防や、性交渉によるパートナーへの感染抑制効果が期待できます。港区では任意接種を希望する男性対象者への接種費用全額の助成を12月1日より開始します。区議会公明党では男性への接種勧奨と費用の助成を令和4年第3回定例会から求めてまいりました。



詳しくはこちら  
港区ホームページから



## フィルムコミッションによる ロケ地誘致で、区内観光促進！

港区は、本年9月映像制作者からロケの相談や当日の立ち会いを行う、フィルムコミッション事業のワンストップ相談窓口「みなとロケサポ」を開設。映画・ドラマなどのロケ地を誘致することにより、区内観光を促進し、地元の活性化につなげます。

区議会公明党は、令和4年9月の定例会で、区内に撮影現場が多数存在することから、ロケ地を活用した魅力発信や観光振興を訴え実現！



## 総合防災訓練でVR・AR技術の 活用や水害対策の展示が実現！

港区の総合防災訓練にて、区議会公明党が本年3月の予算委員会で提案した、VR（仮想現実）やAR（拡張現実）の新技术を活用した訓練コーナーが設置されました。本年8月21日の区内の記録的短時間大雨により、止水板など浸水対策の問い合わせが多数寄せられたことを受け、本年9月の区議会定例会の公明党代表質問で、総合防災訓練での水害対策に関する情報提供を要望。その結果、新たに止水板の実物展示などが実現し、区の高層住宅向け防災資器材費用助成が止水板の購入でも受けられることなど周知啓発されました。

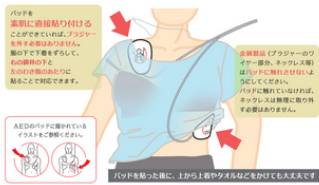


## 女性へのAED使用に関する 周知・啓発を強化！

区議会公明党は、令和6年度予算特別委員会において「女性に配慮したAED使用方法の周知・啓発」について提案してきました。その結果、港区のホームページ等に周知・啓発リーフレットが掲載されることとなりました。この取り組みは、公明党が各地で推進してきた提案が実を結んだものであり、AEDの迅速な使用をためらうことなく行える環境整備に貢献しています。これからも命を守る取り組みを推進してまいります。

### 女性にAEDを使うのを ためらわないで！！

服をすべて脱がなくても、AEDは使用できます！



## 学校校庭開放に夜間照明設置が 拡充！！

区立小中学校の校庭開放における夜間利用の需要が高まる中、照明の光漏れが近隣からの苦情につながるケースが多く、照明設備の設置が進まないといった課題がありました。そこで区議会公明党は令和5年第1回定例会において、周辺への光漏れが低減された照明器具が製品化され、都内に実際に導入しているグラウンドがあること紹介。事例を踏まえ、夜間の運動環境の整備促進を要望した結果、本年9月から5つの区立小中学校で光漏れの抑制された照明器具が更新又は新設されることになりました。



## 児童発達支援センターに紙おむつ のサブスクリプション導入！

区では、令和5年6月から区立認可保育園等で保護者と保育園の業務負担軽減を目的とした紙おむつとおしりふきのサブスクリプション（定額購入サービス）事業を開始しましたが、知的障がいや発達障がいの子どもたちが通う児童発達支援センターは対象とされていませんでした。令和4年度決算特別委員会において区議会公明党は、区立保育園等に通う児童と同じ年代の児童が通う子どもたちにも同等のサービスを提供すべきと要望しました。その結果、本年8月から児童発達支援センターでもオムツと、おしりふきのサブスクリプション事業が実施されることになりました。



2024 Autumn

公明党 港区議会議員

中根

だい

# なかね大 News

VOI.22

令和6年第3回定例会特集



## 令和5年度決算特別委員会 来年度の予算編成に向け、各事業について議論

令和6年9月12日～10月10日までの28日間、区議会定例会が開かれ、公明党議員団の一員として一般質問に立ちました。また開会期間中に令和5年度決算特別委員会にて各事業に対する質疑とともに決算審議が行われました。その内容をご紹介します。

### なかね大 本会議一般質問から

#### リアル防災都市を実現するための具体的な取組について

Q、過去の災害からの節目の機会を捉え、積極的に区が主体となり防災イベントを実施すべき。また「リアル防災都市」の実現に向け、区役所の体制整備や職員の知識、技能レベル向上に、区はどのように取り組まれるのか。  
A、災害の節目を捉えたイベントの実施を検討するとともに、区の組織体制や人員配置を検討し、実践的な教育、訓練を通じて、職員の防災力向上に取り組む。

#### インクルーシブな子どもの居場所づくりについて

Q、障がい特性を持つ児童・生徒が増加する中、障がいの有無にかかわらず共に過ごせる環境整備が必要。学童クラブや児童館のキャパシティ拡充と職員の障がい理解の促進について今後の取組は。  
A、障がい児については調整指数などの見直しを図り、学童クラブの定員拡充も見据えながら、子どもたちが安心して過ごすことができる居場所づくりに取り組むとともに、専門的な知識や技術の習得に向けた研修の充実や障害児の支援の在り方などについて相談できる仕組みの検討など、職員の質の更なる向上に取り組む。

#### 带状疱疹ワクチン接種費用助成について

Q、免疫不全や免疫機能低下、またはその可能性のある者を含め、带状疱疹を罹患するリスクが高いと考えられる18歳以上の成人に接種費用助成の対象を拡充すべきと考えるが区の見解は。  
A、助成拡大できるよう実施体制を検討し、体制が整い次第実施していく。

#### 都立特別支援学校を利用した放課後等デイサービスの実施について

Q、障がい児の放課後の居場所づくりのために、都立特別支援学校を利用できるよう東京都に要望を。  
A、区と東京都は、意見交換の場で、特別支援学校への就学や保護者ニーズなどの情報を共有している。教育委員会では、このような場において、特別支援学校を活用した放課後の居場所づくりを求める区民の声、実情を、設置者である東京都に伝えていく。

発行所：港区高輪2-10-15-307

発行日：2024年12月

TEL：080-5038-7182

E-Mail: dai.nkn7182@gmail.com



Instagram



Facebook



ホームページ  
https://nakane-dai.net/

令和5年度  
決算の概要

港区財政レポート

- 令和5年度決算額は、前年度と比べ、歳入・歳出ともに減少しました。
- 歳入は1,802億円、歳出は1,681億円となり、歳入歳出差引額である形式収支は120億円、形式収支から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は117億円の黒字となりました。
- 「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき算定した財政の健全性に関する4つの比率（健全化判断比率）は、財政健全化計画を定めなければならない基準である早期健全化基準を大きく下回っており、区財政が健全である状況を示しています。

一万円の使い道



区の財政を身近に感じていただくため、令和5年度の歳出が何の経費にどれくらい使われているのかを、1万円に換算して表しました。

<p><b>民生費 4,559円</b> 全体の45.6%</p> <p>高齢者や障害者の福祉、保育園・児童館の運営等</p>	<p><b>総務費 1,683円</b> 全体の16.8%</p> <p>区役所や総合支所の運営、選挙、広報など</p>	<p><b>教育費 1,168円</b> 全体の11.7%</p> <p>小・中学校、教育関係の経費、図書館の運営等</p>	<p><b>土木費 1,022円</b> 全体の10.2%</p> <p>道路・公園・住宅の整備等</p>	<p><b>衛生費 839円</b> 全体の8.4%</p> <p>環境保全、清掃事業、保健所の運営等</p>
<p><b>消防費 409円</b> 全体の4.0%</p> <p>防災関係の経費等</p>	<p><b>商工費 271円</b> 全体の2.7%</p> <p>商工振興費、消費者・中小企業関係の経費等</p>	<p><b>議会費 41円</b> 全体の0.4%</p> <p>区議会の運営</p>	<p><b>労働費 6円</b> 全0.06%</p> <p>勤労者の福利・厚生、労働環境の整備等</p>	<p><b>公債費 2円</b> 全体の0.02%</p> <p>債券</p>

【総務費】トイレトレーラーの導入について

災害時における清潔で安心できるトイレの確保の重要性が高まっている。一般社団法人助け合いジャパンが各自治体1台のトイレトレーラー配備を全国に呼び掛け、取組が進んでいる。23区でも品川区で本年6月に導入が決定した。港区も導入し自治体連携を強化することで、国内の防災力向上に寄与すると考えるがいかがか。

（答弁）特別区防災担当課長会では、トイレトレーラーの活用方法や導入コストについての意見交換が行われ、各区の導入状況や災害時のトイレカーの活用についての調査も進行中。港区では自治体間の連携を前提に、他自治体や民間企業との協力を含め、トイレトレーラーの導入について検討してきた。今後も他の自治体の状況や活用事例を参考にし、課題解決策を含めて進めていく。



決算特別委員会での質問

【総務費】滞在地における不在者投票の請求について

選挙日投票日に仕事や学業等で港区を不在にされている方が滞在地で投票ができる滞在地投票ですが、これまでは投票用紙の請求書を郵送しなくてはならず時間がかかり、投票を棄権される方が多くいた。港区では今年からオンラインで請求できるシステムを導入したことは評価するが、周知が足りていない。ホームページ等で積極的に周知し、投票率向上に取り組むべきと考えるがいかがか。

（答弁）本年6月2日執行の港区長選挙及び7月7日執行の東京都知事選挙においても、マイナポータル電子申請を利用して請求した実績はなく、十分な周知がされていない状況であると捉えております。今後、区ホームページに加え、広報みなと等に記載するとともに、区民まつりでも周知する等し利用を促していく。



【民生費】里親制度について

様々な事情で一時保護をされている児童を家庭養育優先の理念から、養育委託を受けていただく里親制度。現在里親委託率は全国・港区共に25%程度にとどまっている。更なる取り組みの推進が必要と考える一方で、全国では里親子の不調により委託措置が解除されるケースがあり、その措置に納得されていない里親がいる。不調になる前の関係性構築に向けた支援と共に、不調と判断する際の柔軟な対応も必要と考えるがいかがか。



（答弁）委託措置中には児童福祉士や児童心理士が家庭訪問や電話相談に応じるほか、育児家事援助者を派遣し里親子の時間をつくる工夫もしている。また里親同士の交流を通し、孤立せず安心して養育できる支援に努めている。

【教育費】学校給食用物資納入業者への支払いについて

港区では令和5年度から、学校給食費が公会計化され、給食費の徴収・管理や未納対応を学校が行っていた業務負担が軽減された一方で、給食用の材料を納品する業者に負担が生じているケースがある。新たなシステムの導入により以前に比べ学校からの支払いが遅く、経営に負担が生じているとの相談を受けている。これまで学校を支えていただいている地域の商店に負担が生じないよう区は取り組むべきと考えるがいかがか。

（答弁）教育委員会は、公会計化後の事業者への支払いが遅延しないように、学校事務職員に個別研修やマニュアルを提供してきました。しかし、夏休み中の学校閉鎖期間のため、一部の学校で支払いが遅れた事例もある。今後もフォローアップを続け、学校事務職員の習熟を図り、長期休業期間中でも迅速な処理ができるように指導していく。



【教育費】特別支援教育に関する教職員の資質及び専門性の向上について

現在港区の特別支援教育において、教職員の資質および専門性の向上にどのような取り組みが行われているのか。また、学級運営支援講師の増員が必要と考えるがいかがか。



（答弁）特別支援教育担当者会において研修を実施しているほか、若手教員には、毎年夏季休業中に「心理検査結果から読み取ることができる指導内容」などの講義を実施。また学級運営支援講師については、学級の安定につながったケースも多く、学校からのニーズが高いことから、来年度からの学級運営支援講師の体制の強化について検討していく。